故村井裕弥氏追悼の言葉

謹んで、今は亡き村井裕弥様の御霊に捧げます。
ご逝去の悲報を受けたちょうど一月前、関西方面の地震や台風の被害にお気遣いいただくお電話を受けました。その時の明るいお元気なお声を思うと、この度の悲報は信じられません。
関西のオーディオ仲間にご紹介いただいてから、爾来十五年、いろいろとお世話になりました。拙宅の取材、新潟への取材旅行への同行、ご自宅への訪問、熊本のオーディオ道場での集まり、その他分からないことや困ったことがある時の問い合わせ等々、数々のお世話になりました。
村井様のオーディオに関するご活動は、江川工房の頃から拝見していますが、ともかく何事にも固定観念を持たず、真摯に向かい合う姿勢であったと思います。ブランド名や既成の評価基準に捉われず、正直な評価を心がけておられたと言っても良いかと思われます。音匠列伝など、隠れたメーカーや製品を紹介する活動は今も記憶に残っております。軽妙な語り口で、分かりやすく、ポイントを説明していただく記事は大いに参考にさせていただきました。ＤＳＤを始めようかと迷っていた時、ＬＡＮケーブルの選択に迷ったときなどのアドバイスなどなど、その都度、細かいところまで親切に対応してくださいました。つい先頃もご愛用のＭＹＴＥＫの製品やインフラノイズの新製品のご感想を伺ったばかりです。
ともすれば、限られた狭い領域や偏った好みに閉じこもりがちなオーディオを趣味とする私達にとって、音楽ジャンルや音質についても柔軟に幅広く受け入れておられた姿が、印象に残ります。レコ芸十月号のリマスター鑑定団座談会の記事など、一風変わった企画においても無難にこなされ、興味深く読ませてしまうところがありました。今後も村井様の著作や記事を読み返して参考にしていくことでしょう。
もう一つの隠れた村井様のご業績は、人と人を結びつけるマッチメーカーとしての不思議な力をお持ちだったことです。村井様を通じて関西方面の同好の士のみならず、熊本の西野様、オーディオ道場の片山マスターやＦＡＬの古山社長をご紹介いただき、それからもずっとお付き合いを続けております。ＦＡＬのスピーカーは、現在メインのシステムとして使っております。村井様にご紹介いただいた方々とは、長いお付き合いを気がねなくさせていただいています。
今回の急逝は、あまりに急ぎすぎた人生であるやに感じておりますが、存分にオーディオに捧げた人生と言ってもいいかもしれません。今は、村井様のご冥福と残されたご令室様のご健康を祈るばかりです。

合掌

平成三十年十月